

暑さ厳しい日々が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？
熱中症にならない様に十分注意して、暑い夏を乗り切りましょう。



* 今月号から、新企画として「**医学教育一口メモ**」を掲載しています。是非ご一読下さい。

① 医学科学生・教員合同研修会を実施しました！ 平成28年7月8日（金）

1. 現行のカリキュラムへの要望等について —学生の立場から—

2, 3, 4の各学年の学生代表から報告と要望がありました。特に、講義や試験のスケジュール、出席管理システムや電子シラバスの改善などに対する意見が多く取り上げられました。また、OSCEやCBTなど主要な試験と、西医体や医学祭などの行事とをいかに両立させていくか忌憚ない意見が出されました。



2. 今後のカリキュラムの編成の骨子について

山口大学でも国際認証・グローバル化への対応が進められています。例えば授業時間の変更（90分→45分×2、休憩5分）、OSCEやCBTの時期が早まっていること、臨床実習の充実・クリクラの期間拡充（12週→24週）などです。

3. 魅力ある臨床実習のための取り組みについて

第一内科 岡本 健志 先生、第一外科 竹本 圭宏 先生
各科で臨床実習を充実させ、学生・教員ともにモチベーションを更に高めるための取り組みが行われています。例えばカンファレンスでは学生と医師（教員）が席を並べて細かい指導が行われています。回診時はイヤホン・マイクを使うことにより、医師の会話がよく理解できますし、他のマイクの先生からの追加情報も得られます。外来・病棟業務、手術への参加も積極的になされています。



4. 総合討論

主に学生から意見が挙がった項目について質疑応答・討論が行われました。これから臨床実習期間が長くなるので、その分、基礎・臨床講義のスケジュールをどう組んでより良いものにするか、教員・学生の中でも意見を出し合っていく必要があります。

※ 今後もこのような会を設けていきますので、皆様是非ご参加ください。

② フレッシュマンセミナーを実施しました！

平成28年7月26(火)

1年生を対象としたフレッシュマンセミナーを開催致しました。班別討議では、6つの課題(下記参照)に2班ずつ取り組みました。様々な意見、考えをカードに書き、関連項目ごとに分類し、それを元に身振り手振りを交えて、発表を行いました。医学科1年生にとって関わりが深いテーマを課題としました。各班とも時間内にまとめ、分かりやすい発表ができたのではないかと思います。

今後、実際に今回取り組んだ課題について考える場面もあるかと思いますが、今回の討議を参考にしてもらえればと思います。

【課題一覧】

- ① 相手の記憶に残る自己紹介スキルとは？
- ② 空気を凍らさずに勧められたお酒をどうやって断るか？
- ③ LINEのお勧め(中高年をターゲットに説得して下さい)
- ④ SNSを利用して情報発信を行う際に注意すべき点は？
- ⑤ 18歳選挙権についてどう思うか？
- ⑥ 1年次から小串キャンパスで過ごしたいか？



さらに、山口県立大学理事長 江里健輔先生に、「医師になるために、為すべきこと」と題して、特別講演を行って頂きました。大学で学ぶ上での心構えや医療人としてどうあるべきかについてお話し頂きました。

江里先生のご経験に基づいたお話は、大変説得力があり、皆、真剣に耳を傾けていました。



③ 医学教育一ロメモ

アウトカム基盤型教育(outcome-based education: OBE)とは？

アウトカム基盤型教育は、学習者中心教育の考え方を採用し、大きな目標のそれぞれに到達度評価を適用するタイプのカリキュラム開発法である。従来のプロセス基盤型教育は、目的・目標から方略、評価へと至る循環型のモデルを構築している。しかし、教育内容はどんどん増加し、教育内容と評価内容が目標と合致しない、あるいは知識や表面的なスキルは評価出来ても、態度や深い理解に関する評価ができないという批判が生じ、より評価に重点を置いたアウトカム基盤型教育が中心になってきている。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp